



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月6日

上場会社名 株式会社 デジタルアドベンチャー 上場取引所 東
 コード番号 4772 URL <http://www.digiady.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 命学
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 大山 智子 TEL 03-6809-6118
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	762	△62.4	△135	—	△126	—	△93	—
25年12月期第2四半期	2,026	△5.1	△295	—	△350	—	△283	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △93百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 △334百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△1.72	—
25年12月期第2四半期	△5.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	2,058	1,676	80.5	30.52
25年12月期	2,315	1,798	75.2	32.05

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,657百万円 25年12月期 1,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,420	△36.2	0	—	10	—	50	—	0.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	54,392,638株	25年12月期	54,392,638株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	79,576株	25年12月期	79,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	54,313,096株	25年12月期2Q	54,313,762株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和策などにより円安・株高が進み、景気回復基調にあります。4月以降の消費税率の引き上げによる個人消費の低迷や不安定な海外景気等、先行き懸念される状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループはグループ事業再編により、当社はアーティストマネジメントを中心としたエンターテインメントに事業集中して取り組んでまいりましたが、更なる事業拡大とコンテンツの充実を図るため、韓国エンターテインメント総合チャンネル「KNTV」の有料放送を主たる事業とするKNTV株式会社の株式10.89%を取得しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、第1四半期連結会計期間に引き続き、イベントをはじめとした大型案件が少なかったこともあり、売上高は大きく減少しております。

一方、利益面についても、第1四半期連結会計期間に引き続き、事業別コスト管理の徹底により原価を抑えることで売上総利益率は改善しておりますが、販売費及び一般管理費を吸収できず営業損失となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7億62百万円（前年同期比62.4%減）、営業損失1億35百万円（前年同期は営業損失2億95百万円）、経常損失1億26百万円（前年同期は経常損失3億50百万円）、四半期純損失93百万円（前年同期は四半期純損失2億83百万円）となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、従来、「デジタルコンテンツ配信事業」として区分しておりました携帯電話及びパソコンプロバイダーを通じてのデジタルコンテンツ配信等については、量的な重要性が低下したため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示する方法に変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(物販事業)

所属アーティストの公式グッズやドラマ等の関連グッズは全般に好調であったものの、当第2四半期連結累計期間は大型イベント開催がなくイベントグッズの売上が少なかったこと等により、売上高は1億81百万円（前年同期比28.3%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期は、セグメント利益27百万円）となっております。

(ライセンス&メディアコミュニケーション事業)

新人アーティスト発掘・育成事業の第1弾、原宿発がけっぶちボーイズグループBEE SHUFFLEが2月にメジャーデビューし、セカンドシングル「グイグイグイ↑↑↑」の全国プロモーション等の新たな事業展開をしてまいりました。しかし、当第2四半期連結累計期間は所属アーティスト キム・スヒョンのファンミーティングの他に大型イベントの開催がなく、前年同期は所属アーティストの全国ツアーや大型ドラマ版權DVDの事業化等があったこともあり、売上高は大きく減少しております。

利益面では、事業コスト削減により利益率改善に努めましたが、大型案件がなかったこともあり、この結果、売上高は5億69百万円（前年同期比63.3%減）、セグメント損失は1億26百万円（前年同期は、セグメント損失3億29百万円）となっております。

(その他事業)

前連結会計年度において、デジタルコンテンツ配信事業にグルーピングしておりました連結子会社3社の全株式を譲渡したことに伴い、当セグメントの重要性がなくなったため、第1四半期連結会計期間からその他事業に含めて記載しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

売上高は11百万円（前年同期比95.0%減）、セグメント損失は1百万円（前年同期は、セグメント利益7百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、20億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億56百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金が3億83百万円減少、売掛金が31百万円減少、前渡金が2億12百万円増加、および流動資産のその他が53百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、3億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円減少しました。この主な要因は、買掛金が82百万円減少、および流動負債のその他が51百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、16億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金が83百万円減少、および新株予約権が38百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億83百万円減少し、9億33百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億13百万円の資金の減少（前年同期は2億8百万円の減少）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純損失が90百万円、前渡金の増加が2億12百万円、仕入債務の減少が82百万円およびその他の流動負債の減少が47百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、30百万円の資金の増加（前年同期は1億8百万円の増加）となりました。これは、主に敷金及び保証金の回収による収入が24百万円、関係会社株式の売却による収入が11百万円および無形固定資産の取得による支出が2百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の資金の減少（前年同期は86百万円の減少）となりました。これは、主にリース債務の返済による支出によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2期連続で営業損失を計上しており、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、これは、主に大型ドラマコンテンツ版権の償却負担増によるものです。前連結会計年度において取得した版権を概ね事業化し、営業キャッシュ・フローが改善しており、またD A T Vの加入者増加による収益改善が見込まれることなどから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

なお、文章中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,316,693	933,037
売掛金	192,187	161,082
コンテンツ	1,162	1,127
商品	3,712	18,467
関係会社短期貸付金	400,000	400,000
前渡金	175,719	387,772
その他	96,303	42,515
貸倒引当金	△102	△70
流動資産合計	2,185,675	1,943,934
固定資産		
有形固定資産	13,469	11,084
無形固定資産	41,290	30,809
投資その他の資産		
その他	165,806	161,276
貸倒引当金	△91,077	△88,677
投資その他の資産合計	74,729	72,599
固定資産合計	129,489	114,493
資産合計	2,315,164	2,058,427
負債の部		
流動負債		
買掛金	297,758	214,817
その他の引当金	6,286	6,287
その他	212,369	161,191
流動負債合計	516,415	382,296
固定負債	554	—
負債合計	516,969	382,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,999,492	3,999,492
利益剰余金	△2,226,211	△2,309,379
自己株式	△32,412	△32,416
株主資本合計	1,740,868	1,657,695
新株予約権	57,327	18,435
純資産合計	1,798,195	1,676,131
負債純資産合計	2,315,164	2,058,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,026,741	762,888
売上原価	2,006,357	635,463
売上総利益	20,384	127,425
販売費及び一般管理費		
給料	95,273	80,769
支払手数料	81,453	79,849
その他	138,929	102,614
販売費及び一般管理費合計	315,656	263,233
営業損失(△)	△295,272	△135,807
営業外収益		
受取利息	7,677	5,846
貸倒引当金戻入額	4,400	2,400
その他	572	850
営業外収益合計	12,649	9,097
営業外費用		
支払利息	508	16
出資金運用損	15,790	—
持分法による投資損失	15,420	—
為替差損	36,055	—
消費税差額	27	114
その他	0	1
営業外費用合計	67,802	133
経常損失(△)	△350,425	△126,843
特別利益		
投資有価証券償還益	103,941	—
関係会社株式売却益	—	7,382
新株予約権戻入益	26,675	40,113
特別利益合計	130,617	47,496
特別損失		
関係会社株式売却損	58,493	—
持分変動損失	—	10,275
その他	362	804
特別損失合計	58,855	11,080
税金等調整前四半期純損失(△)	△278,663	△90,427
法人税、住民税及び事業税	5,125	3,016
法人税等合計	5,125	3,016
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△283,789	△93,444
四半期純損失(△)	△283,789	△93,444

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△283,789	△93,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,335	—
その他の包括利益合計	△50,335	—
四半期包括利益	△334,125	△93,444
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△334,125	△93,444
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△278,663	△90,427
減価償却費	13,412	8,790
のれん償却額	11,223	5,358
新株予約権戻入益	△26,675	△40,113
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,448	△2,432
受取利息及び受取配当金	△7,677	△5,846
支払利息	508	16
関係会社株式売却損益(△は益)	58,493	△7,382
為替差損益(△は益)	△15,353	182
投資有価証券償還損益(△は益)	△103,941	—
出資金運用損益(△は益)	15,790	—
持分法による投資損益(△は益)	15,420	—
持分変動損益(△は益)	—	10,275
売上債権の増減額(△は増加)	112,505	31,105
たな卸資産の増減額(△は増加)	21,743	△14,720
前渡金の増減額(△は増加)	245,580	△212,053
その他の流動資産の増減額(△は増加)	15,461	25,339
仕入債務の増減額(△は減少)	87,218	△82,940
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△377,486	△47,882
その他	11,286	3,301
小計	△205,602	△419,429
利息及び配当金の受取額	4,086	10,854
利息の支払額	△752	△16
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6,277	△4,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	△208,545	△413,231
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△500,000	—
貸付金の回収による収入	3,298	2,400
有形固定資産の取得による支出	△651	△529
無形固定資産の取得による支出	△7,912	△2,860
投資有価証券の償還による収入	589,740	—
出資金の回収による収入	2,928	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,520
敷金及び保証金の回収による収入	—	24,520
関係会社株式の売却による収入	10,079	11,138
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	25,209	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△12,688	—
その他	△1,643	△1,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	108,358	30,401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入れによる収入	15,000	—
長期借入金の返済による支出	△625	—
リース債務の返済による支出	△638	△638
自己株式の取得による支出	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,263	△642
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,353	△182
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△171,096	△383,655
現金及び現金同等物の期首残高	795,051	1,316,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	623,954	933,037

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	物販	ライツ&メディア コミュニケーション	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	253,817	1,552,895	1,806,712	220,029	2,026,741
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	253,817	1,552,895	1,806,712	220,029	2,026,741
セグメント利益又は損失(△)	27,484	△329,795	△302,310	7,037	△295,272

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△302,310
「その他」の区分の利益	7,037
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△295,272

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社ドラゴンコンテンツの全株式を譲渡したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。これにより「その他」セグメントにおいて、のれんの額が8,011千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	物販	ライツ&メディア コミュニケーション	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	181,933	569,943	751,877	11,011	762,888
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	181,933	569,943	751,877	11,011	762,888
セグメント損失 (△)	△7,444	△126,757	△134,201	△1,606	△135,807

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△134,201
「その他」の区分の損失 (△)	△1,606
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△135,807

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「デジタルコンテンツ配信事業」として区分しておりました携帯電話及びパソコンプロバイダーを通じてのデジタルコンテンツ配信等については、量的な重要性が低下したため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

持分法適用関連会社の取得について

当社は、平成26年7月4日付で、Seunghwa Industry 株式会社と平成26年6月3日に締結した株式売買契約に基づき、KNTV株式会社の発行済株式総数の10.89%の株式を取得しております。また、同日、当社の親会社である株式会社キーイーストがKNTV株式会社の発行済株式総数の32.67%を取得し、当社からKNTV株式会社へ取締役3名が派遣され、うち1名がKNTV株式会社の代表取締役に就任したことから、重要な影響力を与えることとなったKNTV株式会社を持分法の適用の範囲に含めております。

(1) 取得の目的

KNTV社は、韓国エンターテインメント総合チャンネル「KNTV」の有料放送を主たる事業としており、今後同社との連携を強化することにより、CS放送・CATV・IPTVにおける韓国を中心としたアジアエンターテインメント総合テレビ局としての地位を確立し、当社グループの企業価値向上を図るため、同社株式を取得いたしました。

(2) 株式取得の相手先の会社名称

名称 : Seunghwa Industry株式会社

(3) 株式取得先の名称、事業内容、規模

名称 : KNTV株式会社
事業内容 : 有料放送サービス事業等
規模（売上高） : 35億60百万円（平成25年12月期）

(4) 株式取得の時期 平成26年7月4日

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率等

取得株式数 : 6,295株
取得価額 : 4億95百万円
取得後の持分比率 : 10.89%